

「F I B A 3 x 3 ワールドツアー 宇都宮オープナー2026」の開催について

【大会開催概要】

FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Opener 2026	
主 催	F I B A (国際バスケットボール連盟)
主 管	3 x 3 のまち宇都宮推進委員会
会 場	大会本会場：宇都宮二荒山神社参道及び宇都宮市バンバ市民広場 関連イベント会場：宮みらいライトヒル及びライトキューブ宇都宮
期 日	4月24日(金)～4月26日(日)
競 技 規 則	F I B A 競技規則による
出場チーム	12チーム
特 徴	<ul style="list-style-type: none">・クラブチーム世界No.1を決定する世界ツアーの開幕戦・昨シーズンの「F I B A 3 x 3 チームランキング」の上位10チームのほか、開催都市枠として、地元「UTSUNOMIYA BREX. EXE」等が出場

【出場チーム】

カテゴリー	チーム名/国名
2025シーズンの優勝チームを含めた「FIBA3 x 3 チームランキング」上位チーム	1 Ub ウーブ (セルビア)
	2 Miami マイアミ (アメリカ)
	3 Amsterdam アムステルダム (オランダ)
	4 Liman リマン (セルビア)
	5 Raudondvaris ラウドンヴァリス (リトアニア)
	6 Shanghai シャンハイ (中国)
	7 Skyliners スカイライナーズ (ドイツ)
	8 Toulouse トゥールーズ (フランス)
	9 Antwerp アントワープ (ベルギー)
	10 Vienna ヴィエナ (オーストリア)
開催都市枠	UTSUNOMIYA BREX. EXE ウツノミヤブレックスエグゼ (日本)
ワイルドカード枠	大会当日に実施する3チームによる予選を勝ち抜いた1チーム 【出場チーム】 SHINAGAWA, HIRATSUKA, TAIPEI

【大会日程】

	大会会場 (二荒山神社参道及びバンバ市民広場)	関連イベント会場 (ライトキューブ宇都宮及び宮みらいライトヒル)
4月24日 (金)		14:00～ ・ 「(仮称) The Sports and Smart Cities Forum 2026」 (MICE)
	18:00～ ・ オープニングセレモニー	16:30～ ・ 3x3 Fan Fest 18:00～ ・ 大会会場のパブリックビューイング
4月25日 (土)		10:00～ ・ 3x3 Jr. CUP (予選) ・ 3x3. EXE PREMIER 2026 Round. 1 JAPAN WOMEN 'S CONFERENCE
	11:15～ ・ ワイルドカード枠決定戦 ・ 予選リーグ	11:15～ ・ パブリックビューイング
4月26日 (日)		10:00～ ・ 3x3 Jr. CUP (予選・準決勝) ・ 3x3. EXE PREMIER 2026 Round. 1 JAPAN WOMEN 'S CONFERENCE
	12:50～ ・ 決勝トーナメント	
	15:20～ ・ 3x3 Jr. CUP (決勝)	12:50～ ・ パブリックビューイング

【主な取組内容】

①宇都宮のブランドの発信

宇都宮の歴史と伝統を象徴する宇都宮二荒山神社の大鳥居前と、JR宇都宮駅東口の「宮みらいライトヒル」「ライトキューブ宇都宮」を舞台に、市民をはじめ、宇都宮を訪れる全ての方々が、宇都宮の地域資源を通して日本らしさを感じることができる取組を実施し、宇都宮を最大限楽しむことができる“非日常エンターテインメント空間”を創出し、その魅力を全世界へ発信する。

【大会前】

- ・ 外国人や県外来訪者に向けたオプションツアーの実施【新規】
大会観戦と市内観光等を組み合わせた**オプションツアー**を実施
- ・ 全国の3x3関係者が集まるMICEの開催【新規】
MICEの一環として、全国の3x3関係者を対象としたカンファレンス「**(仮称) The Sports and Smart Cities Forum 2026**」を開催
- ・ 都内での記者会見の実施
大会開催前に都内（HANASAKA SQUARE（中央区八重洲））において記者会見を実施し、大会開催に向けた機運を醸成



▲都内記者会見(2025年)の様子

【大会期間中】

・小学生対象の全国大会「3x3 Jr. CUP」の参加チーム数の拡大【拡充】

参加チーム数を拡大して開催

開催都市枠（宇都宮市）：男女各2チーム

関東圏域枠（栃木，茨城，群馬，埼玉，千葉，東京，神奈川，山梨）：男女各16チーム

全国圏域（一般公募）枠：男女各6チーム

・日本らしさを活かした演出・宇都宮の魅力を感じられる装飾やブースの設置

会場での御神輿の演出や，バンバ通りへの甲冑の着付け体験ができるブース出展など，祭をコンセプトに日本らしさを感じられる空間を創出

・FIBAのYouTubeチャンネルやSNS等を活用した情報の発信

世界中の多くのフォロワーを有するFIBAのYouTubeチャンネルや公式SNSを通し，試合の様子とともに，本市の観光情報等を発信



▲3x3 Jr.CUP



▲ブースエリア



▲御神輿の演出



▲甲冑着付け体験

・百人一首普及啓発イベントとの相互連携【新規】

二荒山神社境内で開催する競技かるたの模範試合や着物・袴着装体験などの百人一首普及啓発イベントと連携し、本市の誇れる文化資源である百人一首の魅力を発信することで、「百人一首のまち宇都宮」のPRを実施（4月26日(日)）

・他の国際的スポーツイベントとの相互連携【拡充】

宇都宮ジャパンカップサイクルロードレースやワールドスケートボーディングツアーなど、本市で開催する国際的スポーツイベントと相互連携し、会場の大型ビジョン等にて大会の情報を発信

・2026シーズンの開幕を祝うオープニングセレモニーの実施

FIBAのシーズンアナウンスメントや昨シーズンの表彰などを行い、新たなシーズンの開幕を盛大に祝うオープニングセレモニーを実施

・多くの人々が行き交う「宮みらいライトヒル」等を活用した関連イベントの開催

国内女子トップリーグの「3x3.EXE PREMIER」の開幕戦の同時開催やパブリックビューイングの実施など、多彩な関連事業を実施



▲百人一首普及イベント



▲オープニングセレモニー①



▲オープニングセレモニー②



▲3x3.EXE PREMIER

②まち全体で3x3を盛り上げる環境の創出

FIBA 3x3ワールドツアーが開幕する都市として、まち全体で大会を盛り上げるとともに、3x3を通してまち全体に賑わいを創出する。

・大会開催に向けた街なか等の雰囲気づくり【拡充】

フラッグやバナーによる街なか装飾や、3x3オリジナルデザインのライトラインとバスラッピングに加え、**大会の機運醸成に向け、商店街や自治会と連携して大会ポスター掲出を実施**

・近隣の飲食店と連携した大会のオリジナルメニュー「3xMENU!」の提供

会場周辺の飲食店と連携し、期間限定のオリジナルメニューの提供や割引を実施

・ウォームアップエリアの設置

試合会場周辺に選手を間近に見ることのできるウォームアップエリアを設置



▲街なか装飾



▲3xMENU!



▲ウォームアップエリア

・大会を間近に観戦できる「コートサイドシート」の設置

より多くの人に迫力のある観戦場所を提供できるよう、大会を間近に観戦できる、メインコート周辺のコートサイドシート（有料席）を設置

・東西会場の回遊性向上に向けた取組

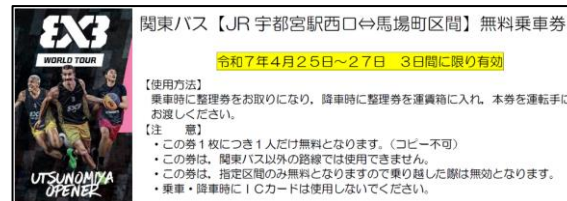
公共交通機関を活用した東西会場の回遊性向上策として、関東バスの「JR宇都宮駅～馬場町」停留所間における無料乗車券を発行・配付

・パブリックビューイングの実施

大会会場以外においても3x3で盛り上がるができるよう、バンバ通り及び宮みらいライトヒルにパブリックビューイング環境を設置



▲コートサイドシート



▲無料乗車券（2025年）



▲パブリックビューイング

③多くの市民が3x3に触れる機会の拡大

子どもから大人まで多くの市民が3x3に触れる機会を拡大し、「3x3のまち宇都宮」の更なる推進を図る。

・子どもたちと大会出場選手との交流機会である「3x3 Fan Fest」参加チームの拡大【拡充】

市内の子どもたちや市民が大会期間中に世界トップクラスの3x3選手に触れる機会として「3x3 Fan Fest」を参加チームを拡充して開催（昨年大会4チーム参加 → 5チーム参加）

・ワールドツアー出場選手による市内小学校訪問の訪問校数の拡大【拡充】

市内の子どもたちが世界トップクラスの3x3選手と交流できる機会として「小学校訪問」を訪問校数を拡充して実施（昨年大会2校実施 → 3校実施）



▲3x3 Fan Fest



▲小学校訪問

④環境に配慮した持続可能な大会運営【新規】

今大会より宇都宮ライトパワー株式会社に「ゼロカーボンアクションパートナー」としてご協力をいただき、環境負荷軽減に向けた取組を推進し、持続可能な大会運営を目指す。

・リサイクル素材の活用

会場内や街なかに掲出する横断幕や案内パネルなどについて、バイオマス素材などのリサイクル素材を活用



・大会開催に伴う温室効果ガスの「カーボン・オフセット」の実施

これまでの出場チーム及び選手の移動や、大会会場で使用する電気（発電機含む）など、大会開催に伴う温室効果ガスの発生量を実質ゼロにする「カーボン・オフセット（※）」を強化

※ 温室効果ガスの排出量を、他の場所でも実現した排出削減・吸収量（クレジット）を購入するなどして相殺する（オフセット）こと



▲リサイクル素材を活用した掲出物の例